

公共交通の利用者数

鉄道利用者数 2, 4 5 7 万人 (R 6)

JR東海道本線 2 駅/名鉄名古屋本線 9 駅/

愛知環状鉄道 6 駅の 3 路線17駅で形成

J R : 674万人 (岡崎駅 1,219万人)

名鉄 : 1,324万人 (東岡崎駅 1,268万人)

愛知環状鉄道 : 459万人 (岡崎駅 385万人)

※鉄道利用者数 = 各駅の乗降客数 ÷ 2

駅利用者数 = 駅の乗降客数

鉄道利用者数 (万人)



バス利用者数 5 2 7 万人 (R 7)

名鉄バス42路線/名鉄東部交通バス 2 路線/

額田地域コミュニティ交通 4 路線の48路線で形成

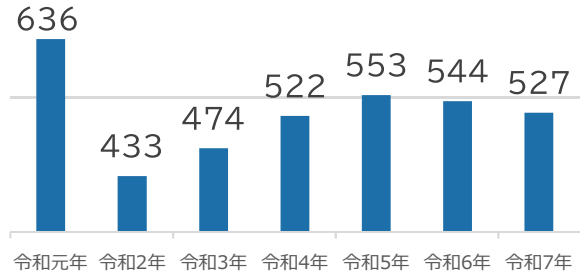
※路線網は、岡崎市公共交通マップのとおり

事業者路線 (補助対象外路線) : 365万人

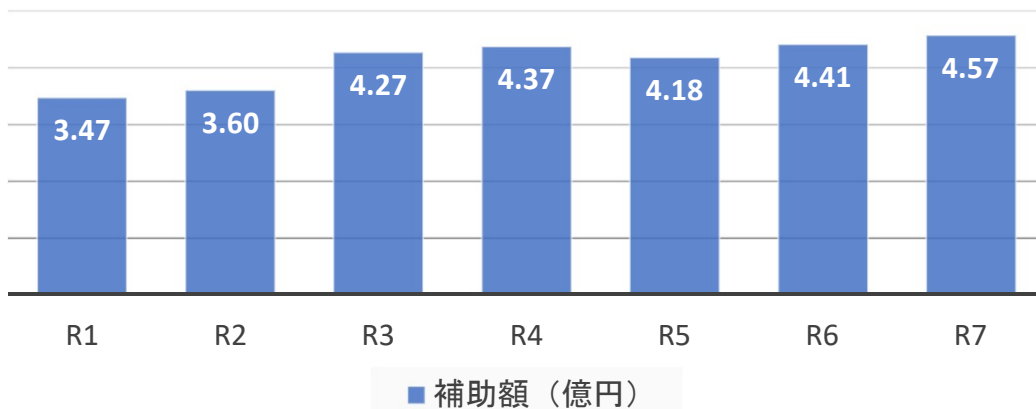
運行補助路線 : 162万人

額田コミュニティ交通 : 5,060人

バス利用者数 (万人)



岡崎市のバス路線に対する公的資金投入額の推移

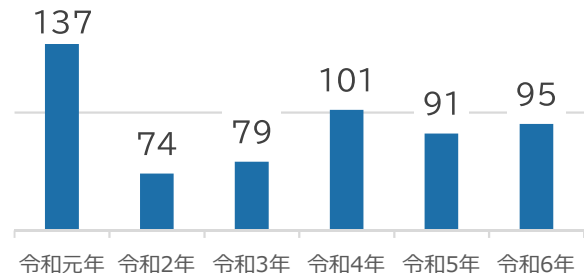


タクシー利用者数 9 5 万人 (R 6)

市内に本社を置く事業者数 : 6 社

車両数 : 213台

タクシー利用者数 (万人)



公共交通カバー率 : 鉄道・バスの徒歩圏 (鉄道駅 : 800m/バス停 : 300m圏内) の人口カバー率は
居住誘導重点区域で99%、居住誘導区域で86%、岡崎市全域で78%

【基本理念】

新たなくらしと活力の創造を支える交通体系

- 基本目標1 「交流を支え都市の魅力を高める」
- 基本目標2 「地域のニーズにあった地域主体の交通」
- 基本目標3 「人と環境にやさしい交通」
- 基本目標4 「新たな社会に対応したスマートな交通」

【成果目標】 公共交通利用者数の回復

鉄道利用者数：2,678万人 バス利用者数：668万人 タクシー利用者数：137万人

目標達成のための主要施策

施策② 都心ゾーンにおける
新たな交通手段の検討

- 都心ゾーンの回遊性を向上する新たな交通手段の導入/観光資源となるような新たなモビリティの活用

➢ 民間事業による電動キックボードの導入



(写真:LUUP HPから<https://luup.sc/why/cities-and-society/>)

施策③ 交通結節点・乗換拠点の整備

- 東岡崎駅については、交通結節点の機能と都市機能を強化し、本市の玄関口としてふさわしい、賑わいと交流に資する駅空間の実現

➢ 東岡崎駅の整備(令和12年度完成予定)



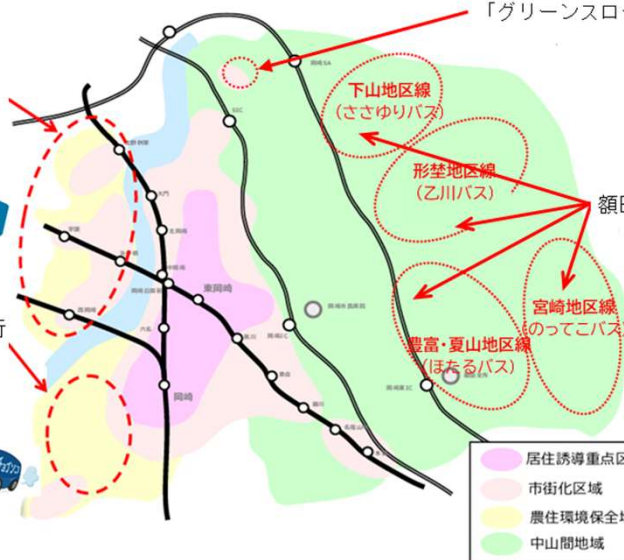
施策⑨ 多様な移動手段の検討

- 需要規模に応じた効率的・効果的な運行を確保するため、地域に存在する多様な輸送資源の活用方法を検討

「矢作デマンド」の暫定運行



「チョイソコおかざき」の運行



「グリーンスローモビリティ」の検討



額田地域コミュニティ交通の運行



➤ 地域内交通の手引“みんなでつくる 地域の交通”の策定(令和6年6月)

➤ 別冊「“共助による地域内交通”編」の策定(令和7年5月)

● 手引で示す運行継続基準(令和7年度)

	乗合率 (1乗車 1.1人以上)	稼働率 (50%)	収支率 (5%)
チョイソコおかざき	1.48	67.1%	10.6%
矢作デマンド	1.09	48.3%	7.4%

施策⑬ 交通バリアフリー化の推進

● 人にやさしい交通サービスの提供のため、交通バリアフリー化を推進

➤ 中岡崎駅・岡崎公園前駅周辺地区
バリアフリー基本構想を策定(令和6年度)

➤ 中岡崎駅へのエレベータ等設置
(令和10年完成予定)



施策⑯ 運転手確保策の実施

● 路線バス・タクシー運転手の高齢化や不足が指摘されている中における交通事業者と連携した運転手確保策の実施

➤ 「岡崎モデル」による外国人運転手の誕生



「岡崎モデル」…
名鉄バス株式会社と岡崎市が連携し、外国人バス運転士の誕生を支援する全国初の取組

施策⑰ モビリティマネジメントの実施

● モビリティマネジメントを実施し、多様な移動手段を適度にご利用する報告へと自発的に転換していくことを促す取組を実施【おかざきスマートムーブアクション】

➤ バスの乗り方教室



➤ 公共交通ポスターコンクール



➤ エコ通勤



施策⑲ MaaSなどの新たな仕組みや技術を活用

● 市民の日常生活や来街者の活動における交通利便性を高め、地域の課題解決に資する重要な手段として、活用に向けた可能性を検討

➤ 自動運転バスの実証運行

